

8/23 五夜

国の2024年度一般会計予算で、各省庁からの概算要求総額が110兆円を超える見通しがあることが21日、分かりました。岸田政権が掲げる軍事力強化のため、防衛省は過去最大の7兆7385億円の計上を求める方向で調整。このほか日銀の大規模金融緩和政策の修正による金利上昇で、国債の利払い費が増え見る見込み。年末に向けた予算編成で要求額は大きく膨らみそうです。

概算要求総額の過去最大

## 概算要求総額 110兆円超

### 来年度予算 軍事・国債費膨らむ

は22年度の111兆6559億円、23年度は2番目の110兆484億円。複数の関係者によると、今月末に締め切られる24年度の概算要求は、現時点で金額を明示しない「事項要求」に物価高や少子化対策が含まれることや、高齢化の進展による社会保障費の自然増

を考えると、要求総額が110兆円を超える公算が大きくなっています。

想定金利は、歴史的な低金利を背景に、17年度から23年度まで過去最低の1・1%でした。予算編成の過程で想定金利が要求段階から変わることもあり得ます。

財務省は24年度予算で、借金に当たる国債の利払い費を算出する際に使う想定